

事業活用活性化計画目標評価について

平成22年度に実施した農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業の評価結果について、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要綱第8の1の(1)により下記のとおり達成状況を公表します。

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県久万高原町	38386	1	H20～H23	H20～H22
活性化計画の区域				
久万高原町全域から市街化区域及び用途区域を除く区域				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
農産物の販売量の増加	%	%	%	
	14.06	0.94	6.68	

平成24年度の改善計画では、優良品種の導入と生産施設（簡易雨除け・防風ネット）を整備し、天候による影響を軽減してピーマンの目標達成を目指したが、平成16年8月の市町村合併以降の人口流出による慢性的な後継者・担い手不足により、施設整備当時には予想することのできなかつた生産販売量の減少となった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物集出荷貯蔵施設	ピーマン選果施設 一式		松山市農業協同組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
松山市農業協同組合	H20	H22	平成23年4月1日

事業の効果

ピーマン選果施設の導入により、農家の庭先選果に係る作業が大幅に削減できたとともに、個体差の少ない安定した産品を市場に提供することができた。

3 総合評価

従来のハード整備の補助に加え、後継者・担い手の確保対策が重要となる。具体的には、新規参入を促すための初期投資抑制策や移住定住促進部門との連携により、後継者・担い手を最優先課題とし、計画目標の達成を目指す必要がある。

4 第三者の意見

町とJAの共同によるハード整備の充実をはじめ、新たに定年帰農者を中心とした後継者・担い手の確保を図るため、久万高原農業公社の体制強化・充実を図ることにより目標の達成が見込まれる。

久万高原町農業経営者協議会 会長 山之内 章